

# 春

# 迎



登米市長  
布 施 孝 尚

## 住み良い地域社会の実現に向け 共に歩み、共に進む

市民の皆さまには、穏やかに新たな年をお迎えのことと存じます。本市にも冬の使者である白鳥が飛来し、昨年夏の記録的な暑さから一転、今は凛とした寒さに包まれ、本年の市政運営に向けて気が引き締まる思いでおります。

東日本大震災から2年を経過しようとしています。未だ、私たちの心を痛める日々が続いております。かつて経験したことのない大災害からの復旧・復興を成し遂げるために、「登米市震災復興計画」を確実に実施し、「夢・大地 みんなが愛する水の里」の実現に向けて取り組んでまいります。

私は、何を成すべきかは、何が起きているのかを知ることから始まり、その答えは常に現場にあると考えております。このことから、色々な行事にできる限りお伺いし、市民の皆さまから直接声をお聞かせいただき、行政運営への反映に努めてまいります。が、今後もその考えのもと、市政にあたってまいります。

登米市の昨年を振り返りますと、4月に「まちづくり基本条例」を施行し、住み良い地域社会の実現に向けた、市民が主体のまちづくりを進めております。9月には自動車関連企業の新工場が立地するなど、近年の企業進出も併せて、新たな雇用へと繋がっているところであります。10月に開催された「ねんりんピック」では、卓球が登米市を会場に開催され、全国各地から大勢

の皆さまをお迎えし、交流を深めることができました。また、12月には、地域密着型特別養護老人ホーム4施設の整備が完了するなど、介護環境の基盤づくりを進めてまいりました。

さて、我が国の経済は、欧州危機など海外の経済状況やデフレの影響などから、依然として厳しい状況にあります。国は新たな体制となりましたが、消費税や経済対策、原発稼働を巡るエネルギー政策、TPP協定交渉参加、放射性物質による汚染、領土・防衛問題などが論争となっており、私たちの生活に直接かわる重要な課題であります。

さらに、本市においては、雇用・経済対策、原子力災害対策も含めた地域防災計画見直し、放射性物質による稲わら等の問題、第2次登米市立病院改革プランの実現、(仮称)登米総合産業高等学校整備への支援などの喫緊の課題もあり未来を見据え、しっかりと取り組まなければならないと考えております。先人の方々に習い、工夫をもって人・産業・町興しに力を尽くして行くことで、これらの課題は乗り越えることができるものと市民の皆さまと共に歩みを進めてまいりますので、昨年に引き続き皆さまのご支援とご協力をお願い申し上げます。

結びに、市民の皆さまにとりまして本年が幸多い年となりますよう心から願い、年頭のごあいさつといたします。

市民の皆さまには、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

「北上の山、雲むらさきに…」 「東に北に南にひらけ、稔りゆたけき大耕土…」 「はるかに西にみちのく山の、山なみ遠く暮れ行けば…」 私の母校、南方中学校の校歌の歌い出しであります。登米市の風景、情景や自然の息吹が表現されたすばらしい一節だと思っております。

平成25年の新春にあたり、あらためて自分の周りや地域の状況、環境を見つめ直してみることも大切なことであり、生きていく実感や自然の中で感じ取ることも必要なことのように思います。

私たちは、東日本大震災を経験し、電気、水道、電話のありがたさ、防災教育、自主防災組織の大切さ、エネルギーに対する考え方を学びました。議会では、スピード感ある被災者の立場に立った震災復旧、復興を国、県、市当局に求め、原発の問題についても「女川原発の再稼働を行わない」意見書を関係機関に送付してまいりました。昨年の師走の選挙において、新しい政権が誕生いたしました。震災復興、デフレ、円高の改善、領土問題をはじめ外交は大丈夫か、消費税、TPP、原発、エネルギーの問題など解決すべき課題が山積しており、国民が安心できる施策の展開を切望するところであります。

登米市は、昨年4月1日に「まちづくり

基本条例」を施行、市民との協働によるまちづくりの理念が出来上がりました。議会においても「議会基本条例」を施行し、市民への情報の提供と共有化や市民等の意見を政策形成に反映させるなど、市民に開かれた議会、市民参加の機会の拡充、政策立案等の強化に取り組んでいるところであります。

議会では、昨年、意見交換会を二回開催し、市政に関するもの、議会・議員活動のあり方など特に議員定数や報酬についても、ご意見や提言をいただきました。皆さまからの意見や提言は、市政に対するものは議会政策企画調整会議や各常任委員会で、また議会に対するものは議会運営委員会や議会改革推進会議で、政策立案や議会改革に向けた議論を継続して行っております。

本年は、市長、市議会議員の改選の年に当たります。市民から直接選ばれる両者が二元代表制の趣旨を踏まえ、立法、監視機能を十分発揮し、公平性、公正性及び透明性を確保し、市民福祉の向上の実現のため相互の役割を認識しながら政策提言や政策立案を積極的に行っていかなければならないと考えるところであります。

市議会は、市民主権に基づく持続可能な自立したまちづくりのため一丸となって取り組んでまいりますので、今後とも、ご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。年頭のごあいさつといたします。



登米市議会議員  
田 口 政 信

## 市民福祉の向上実現に 積極的な政策提案を目指す